

平成28年度後期授業評価アンケート集計結果

1. 趣旨

極域科学専攻が開講している授業科目の優れた点、問題点、改善すべき事項等について、学生の意見や意識を把握し、カリキュラムや授業方法等の教育課程の改善に資するため、授業評価アンケートを実施する。

2. アンケート実施方法

極域科学専攻生にアンケート用紙を個別配布（紙・wordで配布）し、紙又は電子データで回収。

3. 回答率等

- 1) 対象開講科目数 7科目（ただし極域科学特別研究・極域科学特別演習、他専攻開講科目は除く）
- 2) 履修者数 4 名
- 3) 期待回答数 8 件
- 4) 回答数 7 件
- 5) 回答率 87.5%（回答数（7）／期待回答数（8））×100

4. 集計結果と個別分析

評価基準は各項目共通で次のとおり

4：強く思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：全くそう思わない

なお、無回答及び該当無しという回答については、集計の対象からは除外した。

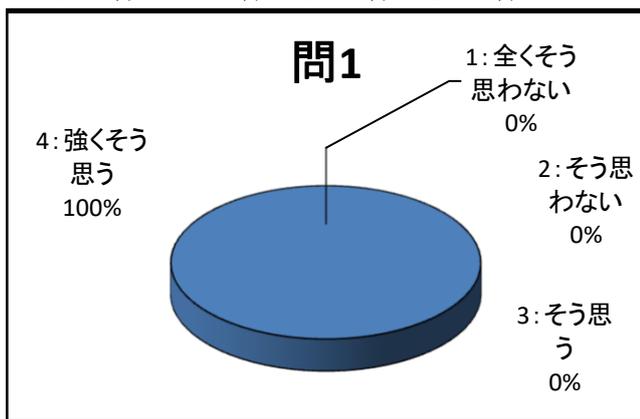
コメントは回答結果をもとに事務局が原案を作成した。

なお、今期より授業方法について（旧問1～問6）は担当教員が把握し、改善の手立てとすることとしたため、集計しない。新問1～問8は旧問7～問14にあたる。

問1. 授業の内容はシラバスの内容と対応していましたか。

4：7件 3：0件 2：0件 1：0件

【平均4】

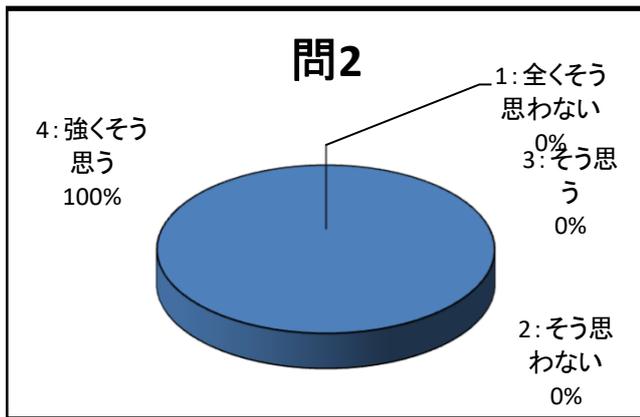


(コメント)

4が10割を占めており、授業内容とシラバスは対応していたと思われる。

問2. 授業の難易度は適切でしたか。

4 : 7件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件



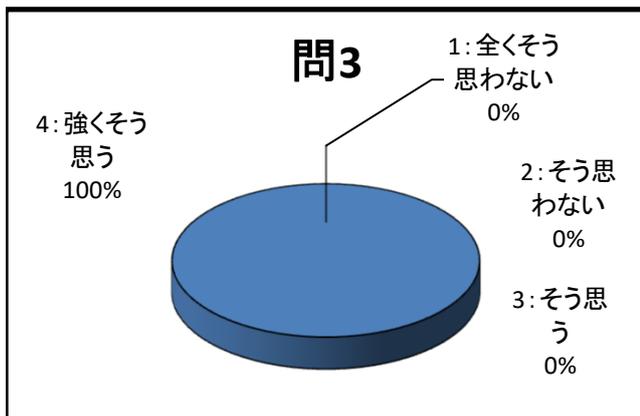
【平均4】

(コメント)

4が10割を占めており、授業の難易度は適切だったと考えられる。

問3. 授業の進度は適切でしたか。

4 : 7件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件



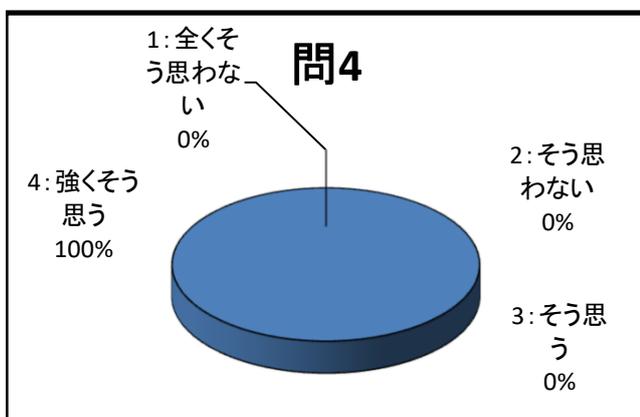
【平均4】

(コメント)

4が10割を占めており、授業の進度は適切であったと考えられる。

問4. この授業を受けることで、理解が深まりましたか。

4 : 7件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件



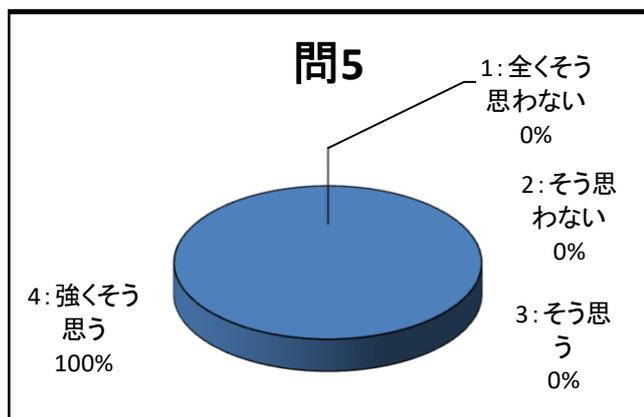
【平均4】

4が10割を占めており、十分理解が深まったと思われる。

問5. 授業により知的な刺激を受け、更に関連する分野を学んでみたいと思いませんか。

4 : 7件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件

【平均4】

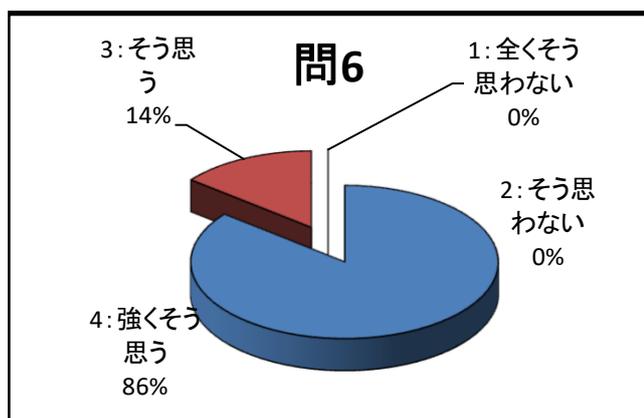


4が10割を占めており、授業で刺激を受け、更に関連する分野を学ぶ意欲が増したと思われる。

問6. 授業に対する教員の熱意を感じましたか。

4 : 6件 3 : 1件 2 : 0件 1 : 0件

【平均3.86】

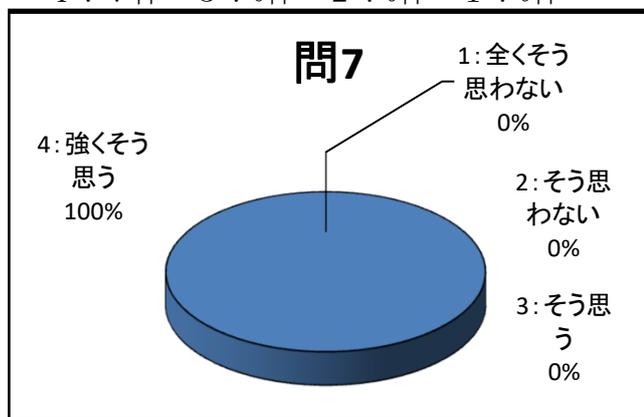


(コメント)
4と3で10割を占めており、ほとんどの学生が教員の熱意を感じていることがわかる。

問7. 総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

4 : 7件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件

【平均4】



(コメント)
4が10割を占めており、学生は十分授業に満足していることがうかがえる。

問8. この授業で良かった点、また改善すべき点、その他特記事項があれば、記入してください。

回答数 6件

良かった点：

学生の予定に合わせて授業スケジュールを調整して頂けた。

学生の理解度に応じて内容をアレンジしてもらえた。

偏光顕微鏡で実際に試料の観察を行えたのがためになった。

より理解が深まるような参考書などを紹介していただいたこと。授業に対する熱心さが伝わってきた。

マンツーマンであったため、出張の都合に合わせて臨機応変に授業日程を組んでいただいた。

専門外の分野の中で理解が深まるように授業していただいた。

改善すべき点：

授業の存在を忘れていての方がいた。ただしその後は丁寧に対応していただいて授業をしていただいた。

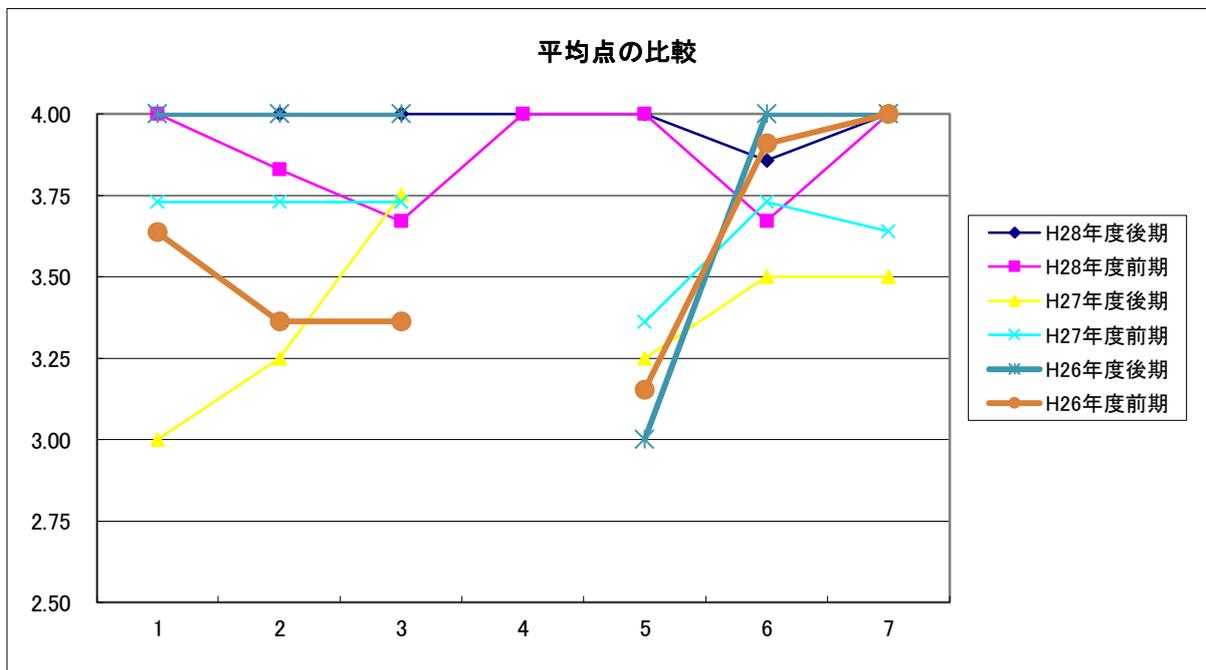
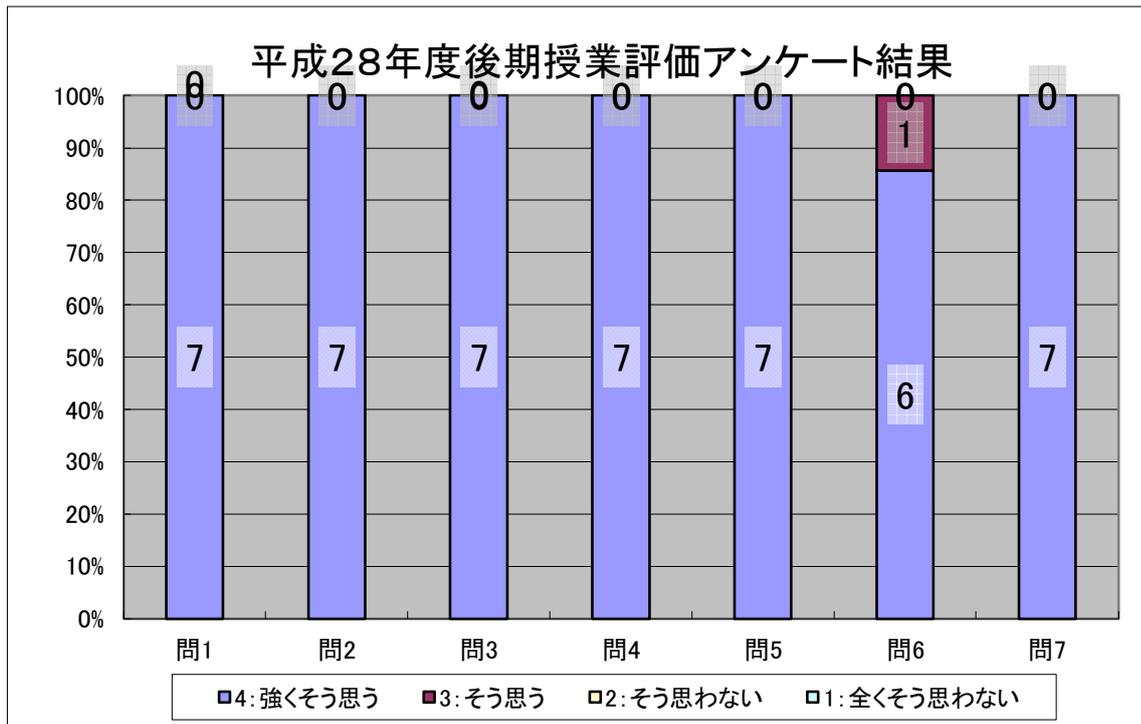
5. 平成28年度後期授業評価アンケートのまとめ

(1) 授業内容について（問1～問6）

4と3が多く、おおむね良い結果となった。

(2) 総合評価（問7～問8）

4の評価が10割を占めていることから、学生は授業に満足していることがわかる。全体的に極めて良い結果となったが、改善すべき点のコメントについては改善すべきである。



6. 今後の対応

平成29年度前期においては回収スピードをあげるため、授業が終了した直後、担当教員からアンケートを手渡しで依頼する。